

農山漁村地域整備計画書評価調書

◆計画の概要

計画の名称	富山県漁港漁村づくり計画
計画策定主体	富山県
対象市町村	朝日町、入善町、黒部市、滑川市、富山市、射水市、氷見市
計画期間	平成29年度～令和3年度
計画の目標	海岸保全施設を計画的に整備し、海岸侵食や越波等から、背後集落の人命や財産を守る。漁業の生産基盤となる漁港の機能充実及び漁場環境の改善を図り、生産性を高めるとともに、漁業集落の生活環境の改善を図ることにより、活力ある漁村づくりをめざす。
評価指標	指標の内容
	(海岸保全施設整備事業_漁港) ・背後集落における高潮等による浸水被害の防止(6.6ha) ・県管理漁港海岸(5漁港海岸)における海岸保全施設に係る長寿命化計画の策定(100%) ・市町管理漁港海岸(9漁港海岸)における海岸保全施設に係る長寿命化計画の策定(100%) (漁港漁村環境整備事業) ・入善漁港の集落道の整備による災害等の緊急時の避難時間の短縮(10分→5分) ・岸壁整備により係留漁船の増加(878m→958m)
対象事業	海岸保全施設整備事業(侵食対策、海岸堤防等老朽化対策) 漁港漁村環境整備事業(漁村再生交付金事業)
全体事業費	1,976,582千円

◆評価

項目	評価細目	評価	説明
目標の妥当性	1 関連する計画との整合が図られているか。	○	新富山県水産業振興計画、富山県海岸保全基本計画との整合が図られている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標になっているか。	○	生命・財産を守り、安全安心な暮らしを確保する海岸保全施設の整備、快適で潤いのある漁港漁村環境の形成等、地域の課題に対応した目標となっている。
	3 対象事業の事業内容が目標と指標に密接に関連しているか。	○	整備計画の目標として適当な定量的指標の設定となっている。
整備計画の効果・効率性	1 事後評価できる適切な指標となっているか。	○	漁港海岸背後集落の浸水防護面積、背後集落人口等、事後評価できる定量的な指標となっている。
	2 対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	海岸保全施設整備事業、漁港漁村環境整備事業等の実施により発現する効果として適切な指標となっている。
整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	市・地域住民での調整が図られ、地域住民は事業実施に期待している。
	2 地元の機運が醸成されているか。	○	地域住民や地区自治会から要望がある。

◆評価結果

評価1	(事業を実施)	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2	計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。